

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 3 年 4 月 14 日

事業名称		会計事務費〔コンビニ収納検査事務〕													
予算科目		款	2	総務費		項	1	総務管理費		目	5	会計管理費		事業番号	1
事業の種別		☒ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし)													
		☐ 課内庶務等 ☐ 休止したもの ☐ 廃止したもの													
担当部署・課長名		会計				課		出納		係		課長名		當摩 弘	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。 【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現										施策番号		行 - 2			
										総合計画書 (ページ)		122			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)									
	収納代行事務受託者及びコンビニエンスストア本部 →					検査を実施すべき収納代行事務受託者及びコンビニエンスストア本部の数									
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)									
	収納代行事務受託者及びコンビニエンスストア本部に対する検査を適切に行う。 →					検査を実施した収納代行事務受託者及びコンビニエンスストア本部の数									
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)									
	適正な公金の収納手続が行われているかについて検査を行う。 →					検査を実施した対象のうち、適正な公金収納手続が行われていた収納代行事務受託者及びコンビニエンスストア本部の数									
			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標							
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標		令和4年度目標						
3 経費	対象指標		①の数値	箇所	10	9	9								
	成果指標		②の数値	箇所	10.0	9.0	9.0								
	目 標		②の目標値												
	目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。)														
	活動指標		③の数値	箇所	10	9	9								
3 経費	事業費(実績)		円	0	0	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)								
	財源	一般財源	円												
		特定財源	円												
		(うち受益者負担)	円												
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1									
		所要人数(再任用)	人												
		職員人件費(再任用以外)	円	824,400	831,000	838,000									
職員人件費(再任用)		円													
事業費+人件費		円	824,400	831,000	838,000										
4 課題	今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く														
	地方自治法施行令及び会計事務規則の規定に基づき、収納代行事務受託者等の収納手続について検査を行っている。														
5 今後の方向性	仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く														
	特になし。														